

日本航空株式会社所属ボーイング式787-9型JA863Jの
航空事故調査について
(経過報告)

令和7年8月28日
運輸安全委員会（航空部会）

運輸安全委員会は、令和6年9月4日、ソウル特別市（大韓民国）の東約200km、高度約12,500mの上空において日本航空株式会社所属ボーイング式787-9型JA863Jが、飛行中に動揺し、客室乗務員が負傷した航空事故について、令和6年9月から原因を究明するための調査を進めてきたところであるが、これまでの調査で得られた情報をもとに、更に分析を進めるとともに、原因関係者からの意見聴取及び関係国への意見照会を行う必要がある。このため、本調査については、本航空事故が発生した日から1年以内に調査を終えることが困難であると見込まれる状況にあることから、運輸安全委員会設置法第25条第4項の規定に基づき、以下のとおり本調査の経過を報告する。

なお、本経過報告の内容については、今後、新たな情報の入手等により、修正されることがあり得る。

また、本調査は、本航空事故に関し、運輸安全委員会設置法及び国際民間航空条約第13附属書に従い、航空事故及び事故に伴い発生した被害の原因を究明し、事故等の防止及び被害の軽減に寄与することを目的として行うものであり、本航空事故の責任を問うために行うものではない。

1. 航空事故の概要

日本航空株式会社所属ボーイング式787-9型JA863Jは、令和6年9月4日（水）、北京首都国際空港を離陸し、東京国際空港に向けて飛行中、機体が動揺し、客室乗務員1名が重傷を負った。

2. 調査の概要

運輸安全委員会は、令和6年9月6日、発生国である大韓民国から国際民間航空条約第13附属書の規定に基づき航空事故調査の全部を委任されたため、本事故の調査を担当する主管調査官ほか1名の航空事故調査官を指名した。現時点までに関係者からの口述聴取、飛行記録装置等の記録の解析、気象に関する情報収集等を実施した。

本調査には、発生国である大韓民国の代表が参加している。

3. 判明している主な事実情報

（1）飛行の経過

同機は、機長ほか乗務員10名及び乗客121名、計132名が搭乗し、同社の定期22便として北京首都国際空港から東京国際空港に向け、17時32分（日本標準時、以下同じ）に離陸した。

同機は、北京首都国際空港を離陸後、大連管
制区管制所から大邱管制区管制所（以下「大邱
ACC」という。）に移管され、大邱ACCに
FL 410をリクエストし承認された。飛行
経路上に雲はなく、気流は静穏であった。

同機は、ウェイポイントKARBUを過ぎ、
ウェイポイントPILITへの直行をリク
エストし承認された。ウェイポイント
PILITに近づいたとき、同機は、一瞬左か
ら右にロールし、その後ガタガタと揺れたが、
その揺れはすぐ収まった。



図1 事故機

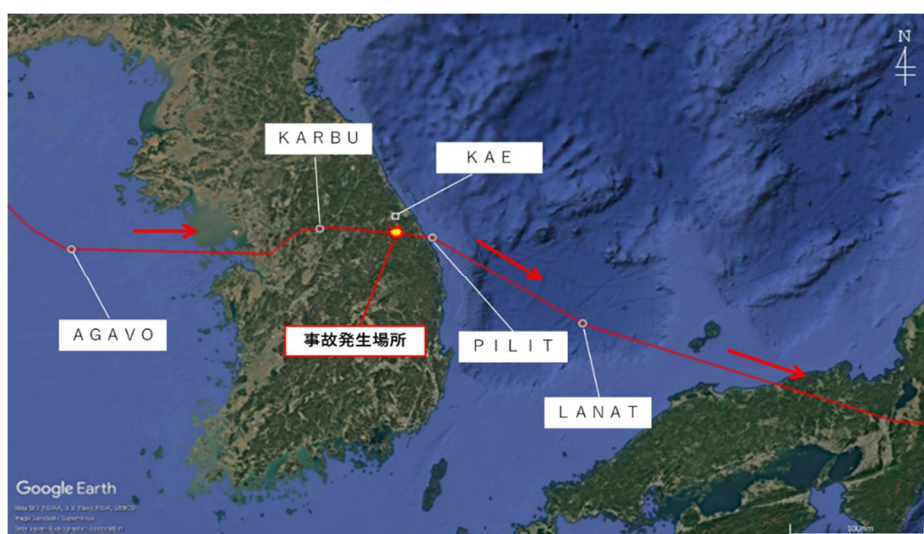


図2 推定飛行経路

同機が左から右にロールしたとき、前任客室乗務員は、身体が横にスライドするよう
に動かされ、空席であった座席2Dの右棚に倒れ込み右上腕と右脇腹を打ち付けた。

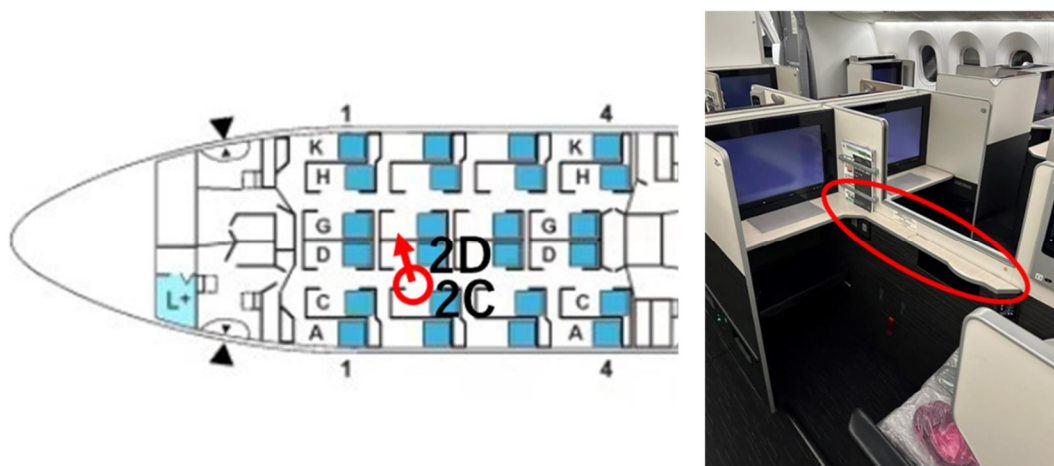


図3 客室前部配席図及び座席2D

その揺れの際、シートベルト着用サインはオフであった。

揺れが収まった後、機長が怪我の状況を確認したところ、前任客室乗務員は、骨折していないと思われること及び業務は可能であることを伝えた。同機は、20時22分頃、東京国際空港滑走路34Lに着陸した。

乗客の降機後、痛みが引かなかった前任客室乗務員は機長に促され救急外来を受診し、翌日、右第10肋骨骨折と診断された。

(2) 死傷者

客室乗務員1名 重傷（右第10肋骨骨折）

(3) 航空機の損壊

なし

(4) 気象

令和6年9月4日18時の速報天気図によると、日本海は高気圧に覆われ、朝鮮半島付近へ張り出していた。

また、令和6年9月4日19時の三十分大気解析図（FL410）によると、事故発生場所付近では、6～9kt/1,000ftの鉛直シア（VWS）が示されていた。

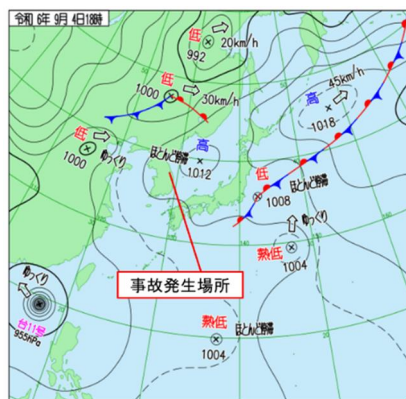


図4 令和6年9月4日18時
速報天気図

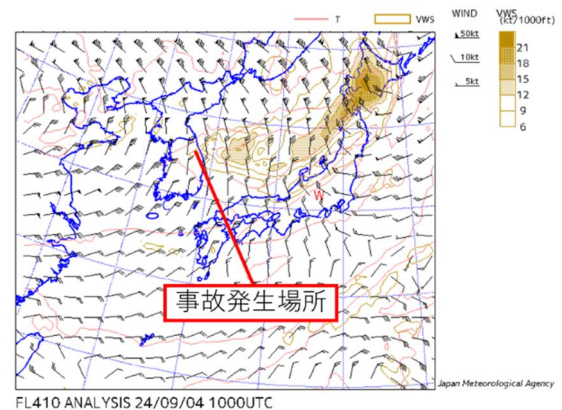


図5 令和6年9月4日19時
三十分大気解析図（FL410）

4. 今後の調査

本航空事故の原因及び本航空事故に伴い発生した被害の原因の究明並びに事故の再発防止策の検討のため、これまでの調査で得られた情報をもとに、飛行中の揺れの状況や運航乗務員による状況認識、意思決定など、更なる事実確認や分析のほか、原因関係者からの意見聴取及び関係国への意見照会を行う必要がある。

当委員会は、これまでの調査、分析等によって得られた結果を踏まえて、引き続き本航空事故の原因等の調査を進める。